

2007年度と2008年度の 家庭保育・ベビーセンター保育事業等補助金交付基準の 変更と主な影響

補助金	2007年補助金額	2008年補助金額	主な影響
1 保育費補助金	[月額] 68,700円以内	[月額] 77,600円以内	カットされた他の補助金をカバーできるような増額ではないので、非常に運営が困難になる。
2 0歳児特別加算補助金	[月額] 1,160円	/	昨年も12名中11人が0歳児で、今年も4名中4名が0歳児です。0歳児が入所する確率が高いので、保育の質を保つには必要。 粉ミルク代が出ない。
3 パート雇用費補助金	家庭保育 [月額] 59,400円 ベビーセンター [月額] 79,200円	/	常時複数(体制)で保育を、と言うけれど、これでは複数体制が難しい。きめ細かな保育を維持するのに、パート保育士も重要な役割を担っています。
4 嘱託医手当補助金	内科 [年額] 94,920円 歯科 [年額] 42,820円	内科 [年額] 90,720円 歯科 [年額] 41,820円	歯科健診で2歳児の虫歯が見つかり、保護者に喜ばれた。
5 運営調整費補助金	[年額] 64,600円	/	よりよい保育をするための、職員の研修ができなくなる。 絵本、おもちゃ、季節の飾り付けなどに使っていたので、購入できなくなります。
6 損害保険料補助金	[年額] 4,000円	/	命をおあずかりしていますので、とても不安です。保険だけは、ぜひとも今まで通りの補助金をお願いしたい。 保険代理店を探すのに苦労した。
7 設備整備費補助金 (2年に1回)	家庭保育 [限度額] 115,000円 ベビーセンター [限度額] 200,000円	/	通常の運営費の中では困難な施設の改善修理、大きな備品整備に使っていた。2年に1回なので、次はここを補修しようと計画していたのが、できなくなった。